

## 締めくくりの3学期がスタート

令和6年、2024年を迎え、いよいよ最終の3学期がスタートしました。今学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、スタートから1週間過ぎましたが、学級では3学期の目当てを立てたり、当番・係を決めたりして、学級が動き始めました。学年を締めくくるとともに、進級・進学を控えた学期であり、教職員一同は一日一日を大切に子どもたちに関わっていきます。下は、共通理解している今学期の重点事項です。

### 〇「チーム〇〇の『楽しさ』を存分に味わえる日々に」～考えよう 語り合おう～の実践

□安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求を相互に満たし合う関係づくり

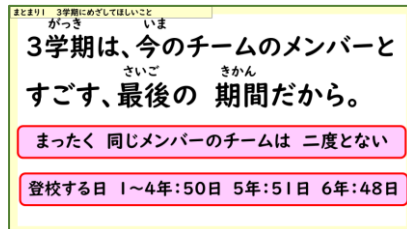
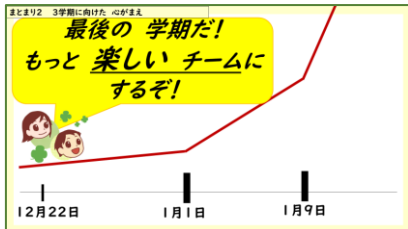
・人間的未熟さからの「わがまま」を繰り返しリフレクションし、「自己主張」に高めていく

(2学期反省: 生命や人権を尊重しようとする心2.7) ➡ キーワードは「相手意識」

・「わがまま」の増長や怒りにつなげない

➡ 発言内容ともかく、行為そのものは受け止める(なるほど、そう思うんだ) ➡ リフレクション

2学期は、「チーム〇〇としての力を高めること」をテーマとしていました。それを受けて、「チームの楽しさを存分に味わって今学期を終わること」を目指していきます。始業式の講話でも、この点は一つ目の柱として子どもたちに話をしました。卒業の日、修了の日には、3枚目のスライド吹き出しにあるような言葉が子どもたちの口から出ることを目標にします。



「そのためには」として柱の二つ目に、【わがままと自己主張】についての同じ部分と、違っていている部分(相手の気持ちを意識しているか、反対された時のリアクション)を伝えました。

【わがままと自己主張】  
もちろん まだまだ……  
チーム学級、チーム学年、チーム南陽小  
しての力が高まった2学期でした。

【わがままと自己主張】  
どちらも、自分の 思ったことを 相手に 言う  
あいて きも 相手の 気持ちは かんげい 関係ない  
あいて きも 相手の 気持ちも だいじ 大事

【わがままと自己主張】  
言ったことを 反対されたら、  
いかる すねる わるぐち い 悪口を 言う  
かんが そう考えるんだと うと 受け止める

【わがままと自己主張】  
チームから「わがまま」をへらし、  
「自己主張」を ふやす  
【自分に きづく】  
【わがままと わかっても 「なるほど、そう考えるんだ」、受け止めてあげる】

その上で、わがままに自身で気付いて減らしていくこと、わがままだと思ってもまずは受け止める言葉をかけてあげようと呼びかけました。未熟な子どもたちは、この経験を繰り返しながら、他者の思いを気付き尊重する態度が身についていくと考えます。

「野球しようぜ!」は、ある人からの メッセージですが、わかりますか。

おあなたに しょうへい 大谷 翔平 せんしゅ から  
メッセージと ともに……

せっかくの プレゼント、みんなで 楽しくつかいましょ!!

話の最後には、大谷選手から贈られたグローブについて触れ、全員が使えて楽しめるようにしますと言って終わりました。

なお、講話の冒頭で、能登半島地震発生とその被害について画像を示しながら話をしました。併せて、亡くなられた方々を悼み、全員で黙とうをささげました。

児童代表の言葉は、3年生と6年生でした。今回の4名も、しっかりと文章を書き上げて、ステージ上で堂々と発表しました。富●●●さんは、2学期の自分の成長を振り返るとともに、4年につながる今学期でさらに成長を目指すことを表明しました。田●●●●さんは、学習面と生活面の目当てを具体的な姿として発表できました。戸●●●●さんは、家族との年明けカウントダウンの思い出から始まり、気づかいができる、スケジュール管理ができる等の自立に向けた行動をとること、峯●●●さんは、学習面での目当てと、生活面で手本となるような挨拶をして南陽小学校がさらに挨拶がよい学校となるようにしていく等、共に6年生らしい目標を発表しました。



式後には、生活指導担当の木村教諭が1年間の生活目標「あいさつ・へんじ・元気よく」を確認し、「今学期は自分からあいさつをする」ことを指導しました。

家庭でも、「子どもたちからの挨拶」がたくさん聞かれるように言葉掛けをしていただけると有り難いです。

